

Kyoto Arts and Culture Foundation 京都市芸術文化情報誌

<sup>特集</sup> 琳派、再考

2016. 春 通巻 132号





1888年の創業から受け継ぐ 伝統とホスピタリティ。

### 京都ホテルオークラ

〒604-8558 京都市中京区河原町御池 地下鉄東西線「京都市役所前駅」直結 TEL.075-211-5111 http://okura.kyotohotel.co.jp/



◎ 京都国立近代美術館

### [表紙解説]

京都国立近代美術館所蔵 冬木偉沙夫作(本協会会員・相談役) 平成2年(1990年)制作

素材: 漆・木材、二曲一双屏風(各)172×84cm 「琳派イメージ」展(京都国立近代美術館/2015年) に出品された作品で、風神・雷神を幾何学的に 表現した漆絵パネル作品。京都芸術大学退任記 念展にも出品された。

機関誌『藝文京』第一三二号

二〇一六年三月発行

発行:公益財団法人京都市芸術文化協会

〒六○四−八一五六

京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町五四六-二

電話:〇七五-二二三-一〇〇三

うごユーニーニー へ 京都芸術センター内

ファックス:〇七五-二一三-一〇〇四

デザイン:大向デザイン事務所

特集:芸

二〇一七年春 発行予定特集: 芸文協創立三五周年記念特大号 (氮)

題字:秋山公道



**Kyoto Arts and Culture Foundation** 

京都市芸術文化情報誌 2016.03 通巻132号

### 目次

〈特集〉琳派、再考

特別寄稿 I 「琳派、再考」 榊原吉郎 … 2

座談会「琳派四○○年をめぐって」

尾﨑眞人・木村英輝・濱崎加奈子 聞き手: 辻喜代治 … 5

特別寄稿II「京都と「琳派」について―近代の二人の図案家」 佐藤敬二 … 11 〈会員の作品紹介〉

プロダクトデザイン 中村隆一 … 15

連句 京都府連句協会 … 16

〈リレー随想〉

「芸文協との出会い」 鈴木佳子 … 18

〈活動報告〉

詩分野 有馬敞詩集『寿命』 名古きよえ … 20

俳句分野 薮公子句集『恋と愛の間』 津田仙子 … 21

〈特別記事:追悼〉

「曽和博朗さんを悼む」 権藤芳一 … 22

〈シリーズ「道具考」〉

「織機と西陣~手織と道具」稲垣機料店を訪ねて … 24

〈トピックス〉

アン・リスレゴー展『Shadow Ya Ya』… 28

〈会員の催物情報・会員からのお知らせ〉…30

声を高めた。しかし彼についての詳細は不明で、将来の解明が待たれている。近代の京都 を経て宗達に心酔した尾形光琳が活躍し、その「琳」の一字を採り「琳派」と呼ぶようになっ そこから四百年の歳月が流れ、市民は琳派四百年として、その徳を偲び記念の行事を展開 では、神坂雪佳が宗達・光琳に傾倒し、「琳派」の美を継承再生させた。 たのは大正期のこと。最近では光琳を慕った姫路城主の次男・酒井抱一の流れを「江戸琳派」 してきた。光悦のもとに俵屋宗達など多くの人が、集い様々な作品を創りだし、さらに時 と呼ぶようになってきた。抱一と同じ頃、大坂生まれの中村芳中が、江戸に出て光琳の名 天下を完全に掌握した徳川家康が、鷹峯の地を本阿弥光悦に与えたのが元和元年(一六一五)。

弟関係は成立しない。それでいて「琳派」の美は継承される実に不思議な流派でもある。 「琳派」の流れを形成したのである。それぞれの間には、約百年の時間が流れ、直接的な師 この美の世界は、光悦・宗達から光琳・弟の乾山へ、そして芳中・抱一から雪佳へと展開し、

「琴・棋・書・画」である。この四藝が「琳派」を読み解く鍵になっていた。中でも「琴」である 町人になった人たちもいた。彼らが身に付けていた素養は、「読み書き算盤」ではなく四藝 を支えたのは町衆であり、彼らが培った素養であった。町衆は武士ではない、武士を捨て てよい。師匠から直々に伝授されなくても受け継がれる美が「琳派」の根底にある。その美 それは何故か。「私淑」つまり「ひそかにならいまなぶ」ことによって成立する流派だと云っ つまり申樂=能楽の影響は大きく、琳派の本質は能楽にあるといえる。有名な『舟橋

ていること。祇園囃子のリズムに能楽が深く係わっていたことなど、町衆の素養が「琳派」 蒔絵硯箱』は、光悦が謡曲「船橋」に由来するイメージをもとに生み出した作品である。 少し角度を変えれば、町衆が育て上げた祇園祭礼の山鉾が、能楽の主題と深く結び付い

を育て慈しんできたと云っても過言ではない。

醍醐三宝院に収められていたものであり、絵柄の背後に謡曲「空蝉」や「住吉詣」のイメージ あったと想定できる。 があり、 俵屋宗達は未だに謎に包まれ、不明なことが多い。源氏物語を描く『関屋澪標図』屛風は、 謡本の表紙デザインなどを重ね合わせると、宗達もまた町衆らしい素養の持主で

代」の相違に、京・大坂の「すい」と江戸の「いき」との感覚的な差異を重ねておきたい。上方 衆を通じて町衆へ伝えられていたことは容易に想定できる。脱線するが、この「千代」と「八千 では「千代にや千代に」と歌うと定められる。後水尾帝の宮廷で始まったこの変化が、公家 授の変化も「琳派」と係わりを持ったと考える。後水尾帝の下で、「古今伝授」が「御所伝授」 となり、古典の解釈も変わる。国歌「君が代」の歌い方は「千代に八千代に」だが、「御所伝授」 の「はんなり」と江戸の「いなせ」を、それぞれの「琳派」に見出せるからだ。 曲想を古典である歌・物語に取材し、その中核に古今和歌集があり、和歌伝

華やかな「京の着倒れ」の一因ともなったといえる。 東福門院の衣裳を、尾形家が浅井家の旧臣であったことから、呉服商・雁金屋が手掛ける。 後水尾帝が、宗達の絵をこよなく愛でられていたことは知られ、皇后となった家康の孫娘

流が深く、 琳は仕舞を乾山が小舞を舞い、長男・藤三郎が太鼓を打った。さらに公家・二条綱平との交 している。 「琳派」と宮廷とは親密な関係にあり、尾形家の三兄弟が、 光琳の『燕子花図屛風』は謡曲「杜若」、『紅白梅図屛風』は謡曲「東北」がイメージ 乾山が綱平から鳴滝の屋敷を拝領し、光琳が綱平を通して女院へ絵扇子を献上 醍醐三宝院門跡の御前で、光

の画風を慕うことになる。 したのが「江戸琳派」で、光琳の江戸での就職先が酒井家であったところから、 家業の歿落後、光琳・乾山は江戸下向し、関東に「琳派」の種を蒔いた。その種から誕生 抱一が光琳

草花を描く。そこには宗達・光琳の草花とは、別世界の粋(いき)な江戸の美が出現している。 晶している。 抱一の筆には圓山応挙が始めた写生の技法があり、さらに弟子たちがそれを引き継ぎ、 中村芳中の活躍があり、 戸の美が創りだされる。抱一の影響力は、「江戸の応挙」といっても過言ではない。上方には、 『夏秋草図屛風』は、光琳が宗達の『風神雷神図』に習って描いた風神雷神の裏に、抱一が 彼に能楽の痕跡が見出せないが、草花図には上方の粋(すい)が結 江

実証してみせた。金剛流を学び能楽との係わりを意識し、 にデザインの道を開拓した彼の選択肢には町衆の素養があった。 深め、「琳派」の装飾性を復興させた。近代日本が美術と工藝に分裂する中で、 世紀初頭、自身の眼で世紀末アール・ヌーボーを確認し、 文明開化の荒波を受けた京では、琳派を継承し、再生させたのが神坂雪佳である。二十 王朝美の探求、 「琳派」にこそ日本の美があると 葦手絵の研究を 「琳派」を鍵

華弘・田中一光など]に継承された。そこには町衆の伝統的な素養の「いき・いなせ」ではな い「はんなり・すい」が存在する。 金銀を基調にした装飾美は、絵画のみならず、漆芸・陶芸・染織・グラフィックデザイン 近現代の日常生活を潤す作家「加山又造・二代木村表斎・六代清水六兵衞・森口

### 座談会

# 年をめぐ

(京都市美術館学芸課長)

木村英輝 (絵師)

濱崎 加奈子(有斐斎弘道館代表)

進行:辻喜代治(フリーランスキュレーター)

## 《展覧会の取り組み》

展覧会が開催されました。まず、尾崎さんから「京都ミュージ アムズ・フォー」の取組みを振り返っていただけますか。 二〇一五年が琳派四〇〇年ということで、 市内各地で様々な

げ方をしてきました。 二○○九年から「ミュージアムズ・フォー」としての活動を展開 文化博物館(文博)、京都国立近代美術館(近美)の四館で、 しています。琳派についてもそれぞれの館で特色のある取り上 私どもの京都市美術館(市美)と京都国立博物館(京博)、京都

たし、

坂雪佳までのいわゆる琳派、「M」は「the RIMPA school(派)」とい 記の「RINPA」と「RIMPA」の二種類がありましたが、「N」は神 派とはまだ言われていません。今回の琳派の事業では、英語表 う言葉の時に使用されるものです。 実は、美術史の中では琳派は神坂雪佳までで、それ以降は琳

と分かりました。 「リンパ」の「N」と「M」の違いを色々調べていましたが、

やっ

### 尾﨑

の『琳派 京を彩る』です。文博は現代の作家を集めて琳派風 たくさんの展覧会があった中で、琳派だけをやったのは京博

イメージ』で明治のたし、近美は『琳派 どう「琳派」と位置付 派降臨』では近世と で「琳派コード」とい けるのかということ 示でした。市美の『琳 雪佳を中心にした展 な作品を展示しまし 雪佳以降を

近代の、



り、江戸琳派は入れず、今日までの京都画壇を中心に取り上う概念の下にやることにしました。本展では、特に範囲を絞 げました。

取組みをどのように考えられますか。 濱崎さんは、専門とされる伝統文化の視点から、 この琳派の

ています。これまで琳派について知らなかった方々が、深く知っしがあったので、琳派について知るきっかけができたと思っ 思うのですが、この一年は、あらゆるところで琳派に関する催 思うのですが、「こういうものを指しているのか、よく分かうで、「ういうものを指しているのか、よく分かうで、「と聞いても、どういうものを指しているのか、よく分からで、「 ていこうとするのは、これからかという気もしています。

ご自分では関わられたことがありますか。

生き方や学問を学んできたのではないかと思っています。 校教育とは違い、様々な芸能など文化芸術を通して人としての 代の学問はどんな状況だったのかを考える中で、今のような学 あった数寄屋建築を保存・再興する活動をしています。江戸時 私は江戸時代の儒学者・皆川淇園による学問所「弘道館」で

琳派という言葉は知っていても、具体的にはよく分からない方 昨年と昨年は、琳派をテーマに京菓子の公募展をやりました。 考える会なども開いてきましたが、琳派イヤーに先立って、 も多いと思うのです。そこで、絵を描いたり造形したりできな 弘道館の活動として、お茶会やお能の会、 お菓子から文化を

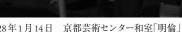
> について考える、これこそ琳派らしく私淑だと思ったのです。 は職人さんが形にしてくれますから。デザインすることで琳派 た。琳派の作品から何かのモチーフを持ってきても良いし、後 い方でも、お菓子のデザインだけなら参加しやすいと考えま

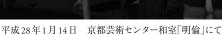
木村さんはいかがですか?

琳派について、 学問的に捉えると、先ほどの尾崎さんのお話









ればするほど文化は なるけれど、整理す 理をしていくことに のようにどんどん整

い加減なもんで、 7

琳派なんてもっとい 貧弱になるでしょ。

らね(一同笑)。あま やっていたものやか の辺のオッサンが

たちの仕事とは相いれないなぁと思って、琳派展には参加しな り定義づけするのは好きではないです。文化は広いものほど豊 と(笑)。 か?」みたいなことを言われて、「それやったら、やろうかな」 いつもりやったけれど、「現代の琳派はキーヤン (木村) と違う : 、整理するほど貧しくなると思う。それで、僕は学問的な人

どの権力者が自分の威光を示すために作った文化とは違う。ま 後から学問的に整理された「琳派」に入るかどうかということ ろが分かってきて興味を持ち、自分も参加しようかなと思った。 た、琳派には徒弟関係もなかった。そういう「ええ加減」なとこ のは町衆がパトロンになって作ってきた文化で、 宗達や光琳の頃には「琳派」という言葉はなかったでしょ。 僕は興味がなかった。 しかし、調べる中で、 宗教や政治な 琳派という

## 《作品との距離

もう一度見ているというような、 京博では、『風神雷神図屛風』など大規模な展示で、教科書を 作品の再発見をするという盛

り上がりがあったようですが

「原寸大で観られて良かった」という声はたくさん聞きまし

言って観に行くのかな。今の時代、本物とレプリカとは殆ど変 わらないのにね。僕は、美術館に行ったことがない。僕にとっ て、刺激的なものを提示してくれてない。 みんなすでに知っている作品なのに、 何で「本物が来た!」と

寺の襖絵がほとんどレプリカやデジタルだったりしますよね。 んにとって本物はどういう意味を持ちますか。例えば、今やお みんなやっぱり本物を観たいのではないでしょうか。

### 木村

都の町の奥深さも町衆、商人らがつくってきた。 時代から美術館に出品するより町のおばさんに「これかっこえ はかっこええなと思ってる。 ういう軒先の商売で、その蓄積が文化になってきたと思う。京 いることの方が琳派なんと違うかな。宗達がしていたこともそ えわ」とか言って買ってもらえる方が嬉しかった。僕の思って えられていればいい。本物と寸分違わないですよ。僕は、学生 僕はそれでええと思ってる。それでしっかりと元の情報が伝 だから、

複製したものは「変わらない」、本物はいずれは「変わっていく」。 そこが大きく違ってきます。 実物とレプリカの差は、正直なところないです。 ないけれど、

### 木村

ことで、「変わらない」ということに満足しているように思う。わるというのは、悪いことでしょ。美術館に入れて「守っている」作品にとって、変わる、変わらないについて考えたとき、変

### 尾﨑

すがね。 を作ったら、それはそれで一つの評価にしかならないと思いま「変わっていく」からモノは面白いんですよ。変わらないモノ

決定しているでしょう。
○○年後には、新たな「琳派」がしているにすぎません。次の一○○年後には、新たな「琳派」と称代の変化があり、現時点の評価として、雪佳までを「琳派」と称代による変化は当然おこります。「琳派」の評価にしても、各時代による変化は当然おこります。「琳派」の評価にしても、各時代による変化は当然おこります。「本派」の評価に関しては時

### 木村

多様な観せ方はあると思うんやね。モノそのものは変わらなくても、例えば照明を変えるなど、

を使っていたと思うけどな(笑)。 と使っていたと思うけどな(笑)。 ま使っていたと思う。あの当時にアクリル絵具があったら、宗達などは僕みたいな体質だったんくて、エレキの音のよう。宗達などは僕みたいな体質だったんくて、エレキの音のよう。宗達などは僕みたいな体質だったんで、エレキの音のよう。宗達などは僕にとってのエレキギに安価で使いやすい。アクリル絵具は僕にとってのエレキギに安価で使いやすい。アクリル絵具は僕にとってのエレキギに安価で使いやすい。アクリル絵具は僕にとってのエレキギに安価で使いたと思うけどな(笑)。

### ±

出会うということが自分自身の歴史ですね。アートって、そうの心境に違いがあるから作品も違って観える。繰り返し観る、だと思います。何度も同じ作品と出会っても、その時々の自分を物とレプリカの話に戻りますが、観る側のプロセスが大事

いう自分自身の方が大事では

8

### 木村

てくる。をはいな。そうするとアートとの関わり方が変わっありなんと違うかな。そういう風に進んでほしい。そういう試みもきたらええなと、そういう風に進んでほしい。そういう試みも

### 濱崎

はいいこと。ころで体感できるのではなく、身近なと

プリカの差が無いというのは、本物とレプリカとの違いをレプリカとの違いをいくなっていくという危うさもいくという危うさも



### 尾﨑

るのですが、日本画の絵具はどうしても変わります。が問題ですね。変わらないということは描いた人の思いも伝わ「変わる」、「変わらない」というのは、目的が何かということ

はできても修復は難しいですね。 そして、日本画や水墨画については洗浄や保護をすること

基本的には、その作品をできるだけ変わらないように保存して、に入れる意味があると思います。美術館に入れるということは、油画は修復できるけれど日本画は難しい。そこで逆に美術館

# 何百年と観ていこうということですね。

### **美**

夢の跡」やね。 夢の跡」やね。 夢の跡」やね。 とはまーケーなんやね。絵の資料はデジタルで 残っているし、作品が朽ちるということに対して、作者として 残っないといけないことがあったとき、周りのみんなは残念 取らないといけないことがあったとき、周りのみんなは残念

### 唇崎

見たとしたら、どう思われますか。 木村さんの描いた壁の絵が、三〇年ほど先に朽ちてきたのを

### 木村

いやぁ、かっこええなと思うやろうね(笑)。

## 《京都の文化背景》

### ì

ところで、濱崎さんは、ご出身は?

### 賓崎

神戸です。

### t

は栃木。 は京都ではないんですよね。私と木村さんは堺だし、尾鳴さんは京都ではないんですよね。私と木村さんは堺だし、尾鳴さんな出身

ているところがありますよね。 京都の文化って、そういう外の人たちが関係して、盛り上げ

### ト す

れてるの。 んかは頭ごなしに入っていっているから、京都の人は黙ってくんかは頭ごなしに入っていっているから、京都の人は黙ってく

(京のぶぶ漬け) みたいなこと言われるキャパシティが広い意外と奥行きがあるというか、受け入れるキャパシティが広いでいるが、外の人に対して

### 辻

めてくれるのです。 でも、ずうっと観てるのよね。ずっと観ていて、ある時に認

したね。
したね。
と若い人たちが動ける場があるという気がします。大阪や東京などの大きな町では自分の存在が見つけられない。ほかの場所などの大きな町では自分の存在が見つけられない。ほかの場所などの大きな動ける場があるという気がします。大阪や東京したね。

択はあるということですが。者が何を言ってもいい。ただ、その後、オーケーかどうかの選索が何を言ってもいい。ただ、その後、オーケーかどうかの選ながのできるということでしょうね。外から来た

### 7

るやろね。 らも絵を頼まれたりするのやね。東京でやっていたら埋没して 僕は強引にでも京都で百箇所くらい描いているから、海外か

### 濱崎

しろいですね。

何か企画されていますか。 今後、生活と「琳派」との結びつきという意味では濱崎さんは

四〇〇年は考えるきっかけになりましたね。 観ることに留まらないで、一歩踏み出して芸術を身近に知ると を伝える活動を続けたいです。美術館に行くのもいいですが、 芸術から学ぶ、楽しく学ぶという場所だったと思うので、それり見き続き、弘道館を守っていくことですね。そこが日本人が いうことをもっとやった方がいい。そういう意味では、

木村さんはどうですか

提案している。東京に習うのではなく、若い人と一緒に京都か をつくりたいと思って、造語やけど「アートピック」というのを ら石を投げたいと思ってね。 僕は、東京オリンピックに向けて、京都で芸術の盛り上がり

この前開催された「琳派ロック」もその一環だったのですか。

やったんやね。特に表現には、何をするのにも自分の意志とか 年間やってきた琳派とロックを組み合わせて「琳派ロック」を から自分の考える琳派を表現したいと。それで、これまで四○ た。オマージュとかパロディではなく、 ているもの、 そう。僕は琳派は軽薄なものというか、時代に適した顔を持っ と思っていて、そういう考えを表現しようと思っ どうせやるなら真正面

気概というものが入るべきと思ってる

て、そういう京都、 とで市立のままで続いていると聞いたことがある。気概があっ たとき、当時の人たちが「国に美意識を任せられへん」というこ 昔、僕の母校(現京都市立芸術大学)を国立にという話があっ かっこええやん。

とうございました。これからもお三方のご活躍を期待しておまだまだ話は尽きませんが、本日は、お忙しいところありが ります。 まだまだ話は尽きませんが、本日は、お忙しいところあり



左から、濱崎加奈子氏、木村英輝氏、尾崎眞人氏 進行: 辻喜代治

# 京都と「琳派」について

佐藤敬一(京都精華大学デザイン学部教授)

建築など幅広いジャンルのなかでさまざまな図案・文様が展開された。京都は産業界、 忘れてはならない。今から約一○○年前の京都は東京遷都の大打撃から立ち直り、新時代 催された。ここで一○○年前、京都の近代化の中で大きく貢献した二人の図案家の活動を 芸界、芸術界を問わず、伝統を守りつつも新しいものを受け入れ、また生み出す風土をもっ 保存や修復、伝統的工芸品産業振興法による伝統産業の振興が進み、伝統工芸、美術工芸、 図案の変革は、輸出工芸など産業工芸に始まった。戦後、文化財保護法による工芸の技術 シンポジウム、展覧会と多くの事業が京都府、京都市、商工会議所また多数の美術館で開 ている。 への脱皮を図るべく、京都市民は官民を挙げて産業や芸術、特に工芸の近代化に力を注いだ。 した京都を代表する二人の作家の功績を見直したい。 昨年度は、光悦が鷹ヶ峯に工芸村を開いて四〇〇年を記念し、琳派を顕彰する講演会 浅井忠(一八五六~一九〇七)と神坂雪佳(一八六六~一九四二)という琳派に傾倒

術が導入されるようになった。明治三年開設の舎蜜局ではワグネル(一八三一~一八九二) による技術指導が行われ、また、 ◆ 東京遷都からの復興―新しい出発 京都府画学校(現 銅駝美術工芸高等学校、 産業と工芸の振興のため、京都にも西欧の科学技 京都市立芸術





神坂雪佳







百々世草(神坂雪佳)

風嘉定(一八七○~一九二四)らにより、華やかな輸出陶磁器が作られた。

導入におけるさまざまな教育と指導が計られた。 大学)、京都高等工芸学校 (現 京都工芸繊維大学) など多くの美術工芸教育機関で、技術の

錦光山宗兵衛(一八六八~一九二七)や、 トの輸入や水金の紹介、 京都博覧会は明治四年から昭和三年の間に合計五六回も開催された。 銅版転写の導入、 明治三九年に松風陶器合資会社を創立した三代松 石膏型の応用は陶磁器意匠に影響を与え、七代 酸化コバ

芸品の買上げと御用達指定は、宮内省型工芸品を生むことになった。二三年、 重要な役割をもっていた。西陣では精巧華美な美術織物が急速に発達し、宮内省による工 制度が公布され、二九年に神坂雪佳の師であり琳派の継承者、岸光景(一八四〇~ 九二二)が図案で任ぜられたが、 明治二三年、京都美術協会が設立されるが、この協会は新皇居造営に伴う室内装飾等に、 それは京都の美術界においても画期的なことであった。 帝室技芸員

佳図案は琳派の再来といわれ和風でモダンなものであった。 武士の家に生まれた。五人の弟がいたが、五男祐吉(一八八六~一九三八)は富田幸七 (一八五四〜一九一○)に師事し腕の確かな漆工家となり、雪佳図案の漆器を手掛けた。雪 琳派の再来―工芸図案家・神坂雪佳 雪佳は、本名は吉隆で、 京都御所の式典を司る

影響を残している。 井の没年の四〇年には美術工芸団体「佳美会」を設立した。雪佳は昭和一七年、七六歳で没 するまでの約五○年間、 神坂雪佳と人材育成 京都の工芸界に重要な位置を占め、 雪佳の活躍は明治二六年設立の「奨美会」での活動に始まる。浅 今だに京都の工芸デザインに

つであった地元産業の育成に応えた。製図規程ができ、 明治一三年設立の京都府画学校は、明治二四年京都市美術学校と改称され、開校目的の 工芸家の求めに応じ意匠図案を





製所は、三三年に美術工芸学校の図案調製部となり、 提供する画期的な制度を作っている。雪佳が主任をしていた二九年設立の市立工芸図案調 京都美術協会は明治二三年に設立されたが、同年雪佳は図案家・岸光景に入門している。 雪佳は同年から大正一四年までそこ

都美術協会雑誌』と改称、三一年から雪佳が編集者となり一層充実する。三八年に『京都美術』 『京都美術雑誌』を発刊し、 大正期まで京都の美術・工芸・図案界の先導的役割を果たした。 展覧会と陳列会、図案募集を事業とした。雑誌は二五年に『京

が皇后に買上げられ、大成功をおさめた。 と図案を担当し、雪佳が下絵文様を描いた。内国博は、漆器出品のうち二点が天皇、 するのを目標として、美術協会を母体に明治二六年設立された。岸光景が出品製品の決定 京都奨美会は建都一一○○年記念として開催される第四回内国博に優秀な製作品を出品

螺鈿文箱(浅井忠)

た初代宮永東山(一八六八~一九四二)、抹茶器を得意とした四代清水六兵衞(一八四八~ 一九三〇)、 級色絵の栗田焼でパリ万博に参加した七代錦光山宗兵衛、 場長・藤江永孝(一八六五~一九一五)らによって組織された。 進化に大きな影響を与えることとなる。ここで中心的な指導者として迎えられたのが工芸 染織工芸の道楽園、若手工芸家集団の時習園の四園は「京都四園」と呼ばれ、京都の図案の 一九二〇) などが主なメンバーであった。図案家は新図案を、 への愛着をもつ洋画家・浅井忠であった。遊陶園は明治三六年に京都市陶磁器試験場初代 工芸分野の作家たちと次々に工芸研究団体を発足した。この頃生まれた遊陶園、 ◆新図案の導入―浅井忠と京都四園 陶磁器試験場設立に尽くし、のち帝室技芸員になる初代伊東陶山 (一八四六~ 中沢岩太は、新しい図案の必要性を感じていた各 パリ万博の事務局として渡仏し 中沢を園長に、浅井のほか高 製作家は図案により作った陶

魚網菓子器(浅井忠)



活動は遊陶園に準じるものであり、漆器を製作した。中沢を園長に浅井のほか武田五一 農商務省陳列館で開かれた遊陶園と京漆園合同の「陶漆器展覧会」はすこぶる好評であった。 (一八七二〜一九三八)は、神坂雪佳らを園友として図案の指導を求めた。四五年に東京築地の 磁器をもち寄って批判し合い改良を重ね、園友の多数が優良と認めれば、その作品の箱に 一九一三)、美術工芸学校教員の岩村光真(一八八五~一九四五)らの漆芸家により作られた。 蒔絵作家でのち帝室技芸員になる迎田秋悦 (一八八一~一九三三)、杉林古香 (一八八一 製作者ともに書付をし、遊陶園の記名園印を押して販売した。京漆園は明治三九

こからは、近代に花開いた新たな琳派図案の歴史を読み取ることができるとともに、それ 四代清水六兵衞が石膏型で製作した「水の図向附皿」は現在もキヨロク工房で製作されてい の雪佳図案集『百々世草』をアレンジした訪問着を作っており、大正九年、 代の琳派の指導者であった神坂雪佳、モダンデザインを導入した浅井忠、 ムでは現代の家具とともに、雪佳図案の家具や漆器を見ることができる。このように、近 彼らの作品は、京都市内の多くの美術館・博物館で、いまも目にすることができる。 宮崎木材工業では、昔の図案で新しい琳派感覚の家具が製作されており、ショールー 現代の工芸家たちの手本にもなっている。 家具や漆器に使われている。 京友禅の老舗 「岡重」では、 雪佳図案により 彼らの新鮮な感 明治四二年

家たちによって生み出された意匠と文様は、

◆ 受け継がれる近代の琳派図案

このように、神坂雪佳や浅井忠、そのほか多くの図案

さまざまな工房や商社に伝えられ、

現在も訪

戦前に宮内省によって運営された美術・工芸の顕彰制度

ができるだろう。

らが源流となりいまも進化し続けている、

これからの京都デザインの可能性も感じること

「あかり」 中村隆一

素材 作品サイズ  $240 \text{mm} \times 240 \text{mm} \times 240 \text{mm}$ 

同じパターンの金属板が五面で構成した。四つの作品ですが、それぞれ んとなく感じられたらと思い考えま するものです。 係なく、 た照明器具です。 されています。 インテリアオブジェとして制作し 四つの作品ですが、 デコレー 和風のイメージがなーションとして存在。室内の光量とは関 和風のイメ

# 仙「昨夜の官能」の巻 ふたば会

於:京都市国際交流会館&アスニー山科

手を添へて眼鏡の奥の目はやさし	童話を読んで子を寝かしつけ	月の海底に林のあるさうな	野猿が醸す酒の味はひ	秋晴れて昨夜の官能遠々し	
木村禮子	三原	赤木	星野 焱	北原	<b>北</b> 万利男

らる舞の

たるつ か 絵は 来迎図

IJ

タ立に休止耐震工事 ・受に依止耐震工事 ・受に、 ・では、 の冷 でめ てか里山に鳴きの句碑も隠れたりの日碑も隠れたりで困る繋ぎのズボン

夕の返 お

0)

春屏 和禮子子

車を

がる豚

紙風

へのさ

0)

据 据ゑなたる

春山悦子

和子

紫苑

山本紫苑

不の葉散る き届

の恋は

流す

尾崎志津女

た津女

み交は

じい

**小カリと雲が浮いていだき合うては登り** 

てる境

さてここからが道行 は浮き名を:

和春

化けさうなの特雨仮説の暮れ

さうな傘さ

柱に猫

ナウ 衣被つる は 被つるりと剥けてのつ。 鳥瓜提げ亭主御帰還 柱に猫も眺むる初月夜 ボカリポカリと雲が沼 0) は風

 $\sim$ 

5

ぼ

志津女

紫苑

和子 春屏

ゅ なる谷

た 明る

平成二十七年九月十三日起首春の野辺には蝶々舞ひまふ

が コ コココココと餌を探 0 場

> 和子 悦 悦子

るように乗 た汽車 ね を引

仙「えんま蟋蟀」の巻 古都連句会

於:京都市国際交流会館

で睦ま 7

V

とく

ち

2分歩く旅は健康長寿

竹本俊平

を振

久久

井尻荷葉

久弦

あり

L

は夢雲は流

ħ

わ日

いて手と手つな

l,

0) 切

俊平

弦

品部三酔

炎

しび 荷葉 三久克 久弦

荷葉 三酔 干苑 久久

れびたつ 月の蝕

行き先はその日の気分歩く旅 また〇B日陰恋しやフェアウェー おんれて保険に入れて毒入れて 警察走るマスコミ走る 学の世はスマホで操る愉快犯 ゲームしてたらバスは終点 がームしてたらバスは終点 が一ムしてたらバスは終点 がの玉の揺れる野末の川暗く ゆく千鳥足雨のそぼ降る

荷葉

恐慌の気配あるかも月の木の椅子に座りっぱな-マクロ経済何が何いなっての様さになるモルスの神宮に飾るモル

俊俊平平

ナウ

れて帰り気にするカメ棚田に響く横笛の曲

, 奥宮を彩るもみじ赤黄色 落穂咥えて鴉飛びたつ 恐慌の気配あるかも月の師

七年九月十九日 起首、

花満ちて時を止めたる花の

16

# 芸文協との出会い

鈴木佳子(デザイナー・京都市立芸術大学名誉教授)

知っていたけれど、私の仕事(デザイン)とはあまり関わりのない分野のことと思って 芸文協という団体が京都市に存在し、多角的に活動をされていることは

野は日図しかないときに、個人で入会させていただきました。そして編集委員会に参加さ ではなくフランス装でということで非常に感動しました。そんなこともあり、デザイン分 ちょうど先生の著作の本を作っている時でした。先生はその本はあまり硬いハードカバー 私などの役立つ分野があるのでしょうかと問いかけたのを、今でも鮮明に覚えています。 会を頂きました。 せていただき、廣先生、薬師川先生たちとも親しくなれ、いろいろの方々とお話出来る機 ある日その時の芸大学長の河野健二先生に呼ばれ、芸文協に参加しないかと問われて、

私は印刷と文字に関わって六○年を超えようとしています。

なfont(字体)はあったけれど、その作業は大変で、 は活版印刷で、活字を一つずつ拾って組んでいく作業は四○○年前とほぼ同じでいろいろ 印刷と文字という世界にしたって、この半世紀に、いろいろの変化がありました。まず 熟練者の方の分野でした。京都でも中

読みください。) 西印刷が最後まで美しい印刷をされていました。(中西秀彦著「活字が消えた日」をお

デジタルの時代になって本当に美しい本 (印刷物) が出来るようになったかは、個人の は一字ずつレンズを通して印画紙に印字することから、電算写植まで発達し、字間の 感性に任されるのでしょう。 まもなく、デジタルの時代が来ました。その変化の波に乗って、仕事をしてきました。 調節も指定できるし、 次に写真植字(写植)時代になり、写植機を用いて、文字を打ちました。初期の機械 平体・長体など簡単に打てるようになり喜んでいると、その後

て保存しておきたいものはどうしたらいいのか、迷っています。 印刷は紙との関係があって、ただスクリーン上で読めればいいものと、何世紀に渡っ

本は本当になくなるのでしょうか。 ならず生活の重要な部分を締めている。 紙のことは長い歴史の中で日本に渡って来たものが和紙として成長し、印刷物のみ 日本での製紙技術は世界に誇れるものです。

そんなことを、ぼんやり考えているこの頃です。

「野の花」 鈴木佳子

### 報 活 2 告 動

### 俳句

### 薮公子句集『恋と愛の間』



社より処女句集をご上木された。のアンソロジーより三六○句に纏め、此の度東京の文芸のアンソロジーより三六○句に纏め、此の度東京の文芸会の最古参、薮公子さん(本名:山﨑脩/彫刻家)が永年京都市芸術文化協会の文芸部門で行われている不惑句

開巻させて頂き私の琴線に触れた

降る雪や音を吸はれて涙ぐみ砂浜に帰る跡なき秋の風が浜に帰る跡なき秋の風

等々、紙幅の都合で抒情句を抽出。題簽とは遠いものような気もするが、広辞苑を拝借すれば俳句とは、連別と強く感じ、そして御池大橋木屋町南側に宿をとり、開が異なるものと思うのです。読み進めば著者の私小開が異なるものと思うのです。読み進めば著者の私小開が異なるものと思うのです。読み進めば著者の私小歌の発句の形式を継承したものであり、読手によって展歌の発句の書きない。

著者の根幹には漱石の美学に憧れがあったのでは。

冬の夜や岩波文庫草枕

(非句分再読・再々読したくなる句集である。

(俳句分野 津田仙子)



### 詩

### 有馬敲詩集『寿命』



が描かれ、

振り返り八○余年を生きぬいた作者の詠歎である。「咳

表題作「寿命」は有馬氏らしい切り口で人生を

ばらいうた」「狂歌」はリズムとドライユーモア仕立てだ

集である。第一部は老いを自覚しながらも桜を愛でる魂

『寿命』 は平成二七年十月に出版された作者八四歳の詩

で、老いに負けない意欲的な詩集である。しなくてはならない。しかし「負け犬」は笑いを醸す作品の死、姉も数年前に、弟と自分だけとなり、医者通いもの死、姉も数年前に、弟と自分だけとなり、医者通いも第三部は方言を使い、長兄の死、次兄の五十歳半ばで

(詩分野 名古きよえ)

22

### 和 博朗さんを悼

当協会会員で能楽囃子方幸流の曽和博朗様が十二月二日にご逝去されました。

十二月二日に、曽和博朗さんが亡くなられた。大正十四年 (一九二五) 生まれ、享年九〇歳。京都だけで 恐らく全国の能楽師の中で、最長老であった。晩年まで、舞台上での衰えを感じさせず、 お元気で

撮影:大島拓也

した時、その後を継ぐべく選ばれた。その鼓堂の子が脩吉、脩吉の子が博朗ということになる。 流の小鼓を本格的に学ぶようになった。筋もよく、技芸にも秀でていたので、糟谷家の芸系が絶えようと 少から謡を習っていた。鼓堂も同様であったが、父以上に熱心であり、謡以外にも糟谷彦三郎宗明に、幸 鼓との係りが出来るのは、師の祖父・鼓堂の時からである。その父も、当時の京都の商家の常として、 能楽囃子方のうち、 小鼓の幸流に属しておられた。もと千本一条で味噌雑穀を商っていた曽和家が、 幼

曽和家の当主となった。 を相ついで亡くした。祖父は享年七一歳だったが、父はまだ四四歳の壮年であった。博朗は弱冠十七歳で、 博朗は幼少より祖父と父とから小鼓を習っていた。しかし昭和十七年 (一九四二)三月に祖父、五月に父

支えるために、祖父の残した素人弟子の稽古も続けねばならなかった。自分の技芸の向上のために、 の近くの家の部屋を借り、二、三日泊まって稽古を受け、また夜行で帰り、先輩に組して大曲に挑み、 の家元・幸祥光のもとに稽古にも通った。新幹線も、テープもなかった時代である。夜行で東上し、家元 同年輩の先輩格の人ばかりであった。とにかく間違わないように、邪魔にならないように努めた。 すでに決まっていた父の役々を、すぐに代わって勤めねばならなかった。お相手はいずれも、父とほぼ 東京

曲趣を高めるよう努めた。 囃子方とのバランスもある。家元から教わった幸流としての囃子方の規矩もある。若輩の自分の主張を入 ている。囃子方は受け身である。流儀の違い、シテ方の個性、演出上の解釈に合わせねばならない。 れる余地はほとんどない。それでいて、ただ自分の分を護るだけでなく、融通無碍に周りに合せながら、 「観世、金剛のおシテの方が、舞台で役がつくようにお声をかけてくださったお蔭です。」と彼は感謝し

その三年後の平成九年(一九九七)に「人間国宝」の認定を受けた。地方区から全国区への躍進である。こう 歳の時にこの賞を受けている。博朗に対する中央の評価は、こういう所なのだろうと思った。ところが、 長年能楽の普及発展に尽して来た、いわば地域功労賞的な感じがあった。 博朗は、平成七年(一九九五)、七〇 は「実力」が物を言うのだと思った。 夫賞」がその時点で、能楽界を代表する現役の実力者に与えられるのに対して、「催花賞」は地方で地道に した例は、これまでになかった。元気で長生きし、舞台を勤めたという運のよさもあったが、やはり最後 法政大学能楽研究所から「観世寿夫記念法政大学能楽賞」のほか「催花賞」というのが出されている。「寿

般にもそういった傾向が見られた)。その上、彼の育った環境、修行の過程から生まれた面もあった。 合わせて淡々と囃すといったところに特徴があった。それは彼の性格によるものだろう (京都の囃子方全 正直一寸返答にとまどう。 関西の能楽囃子方で、 人間国宝に認定されたのは、博朗が初めてである。博朗の芸風は、と聞かれると、 強いて言えば「無味」とでも言おうか、自己の解釈や主張を表へ出さず、相手に

と言っている。若年でこうした大曲を上演する機会に恵まれたことを素直に感謝している。 都婆小町」を勤めた。四○歳前に´三老女ヘに準ずる重い曲を勤めたのは珍しい。博朗は「披かせてもらった」 三五歳で「屋島・弓流」を披き、つづいて「定家」「木賊」「朝長・懴法」「鷺」と大曲を次々と上演、三九歳で「卒

「間違うことはならん」という父の教えを常に胸におさめて勤めてきた。ずっと先輩の中にあった舞台で 邪魔をせず、 晩年は後輩たちと同じ舞台を勤めるようになった。それでもやはり、 曲趣にあった、その曲「らしい」舞台をめざしていた。 自分が若手をひっぱるの





(古典芸能評論家

権藤芳一)

### 現 代 道具 ズ 考

産業が、 京都 - 西陣において、機などの織道具や織物今回は手織機を取り上げます。 四代目・稲垣隆太郎さんにお伺い してきたのか、 どのような環境と歴史を背景に発展 西陣に店を構える稲垣機料店の また、 現在はどのような状況 しました。



### 稲垣隆太郎さん

### 織のはじまり

発展を続け、 る「腰機」、 から、 をはじめ暮らしの必需品を作る手段として、先史時代から人間の営み の中にありました。道具を使わず手や足など体の一部を使って織ること 糸状のものをタテヨコに組み合わせ、布をつくること―「織り」は衣服 棒など簡単な道具を使うようになり、 一六世紀には枠を立てて織る「地機」、幕末の頃には「高機」と 現在のような形になりました。 その後、 織機の原点とな

るという営みが人類の始まりから共にあったことは確かでしょう。 的に各地で発生、発展してきたものなのかは定かではありませんが、 日本における織や織機が大陸からもたらされたものなの か、 同時多発 織

## 織と織機と西陣

### 《西陣》

考えることはできません。 京都における織とその道具につい 、ては、 西陣という土地と切り離して

てしまいますが、町が復興するにつれ、 (一四六七年~)により壊滅的に荒廃。洛中の職人たちも散り散りになっ 平安時代にはすでに織産業が盛んであった京都ですが、 職人たちは声を掛け合い西陣の 応仁の乱





現在の住宅でも使用しやすく

地に再び集まり始め、 京都の織産業は再び発展していきます

ら力織機・ジャガード機などの機械織が導入され、先端技術と伝統の技 術の融合により、 さらに明治期には、 西陣は日本の織産業の中心地として活気づきます。 琵琶湖疏水による水力発電を追い風に、

その後、 も賑わいをみせましたが、景気の低迷、呉服の需要の低下などが重なり、 本通をぶらぶら歩く)」という言葉が流行るなど、千本通・西陣京極は夜 一九六○~一九七○年代には西陣は好景気の絶頂にあり、「ギブラ(チ 少しずつ衰退してしまいます。

### 《特徴》

しょうか。 さて、 その 西陣に おける織とその道具の特徴とはどのようなもので

丈夫で風合い良く仕上げるには、密、に織る必要があることから、 特に強く張ります。 西陣で作られる織製品は、 綿ではなく、 絹を使った帯や着物です。

千切と呼ばれる部分は太く強い造りになるのが特徴です。材には松材 なります。また、そのテンションに耐えうる強さが必要なため、 か が使われますが、 を作るためには、 かっても糸が切れないように、硬く滑りの良い桜材が使われています。 強く張った経糸のテンション(張力)をいなして、 間丁と呼ばれる糸が直接触れる部分には、 経糸を長く張る必要があり、 自ずと機の奥行が長く 杼で緯糸を通す隙間 強い力が 千巻や

織機と西陣〜手織と道具

ラリーズ具考」

《部品・その他の道具》

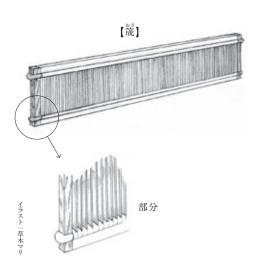
つまり、

京都の〈機〉は「大きくて丈夫」といえるようです。

行っています。 は機大工の高齢化などにより、新しい大工へ機を作るための引き継ぎを垣機料店にも一○年程前までは専属の機大工を置いていましたが、現在けでは生業とするには難しく、京都にはいまや数人が残るのみです。稲機の骨組みは機大工と呼ばれる職人が作っていましたが、機の製作だ

心です。 て生まれる風合いを好み、 は優れていますが、竹筬に比べると少し重くなります。 均一に整えられ、格子状に整然と並べられた竹の刃の筬は見た目にも美 だ竹材を格子状に並べたものですが、 【筬 おさ】 とですが 使う程に艶を出します。 竹材の筬を作るには特別の道具と熟練の技が必要です。 筬は、 竹筬職人の引退により、 通した緯糸を詰め、 やはり竹筬が良いという愛好者も多いとのこ ステンレス製は正確さや耐久性について これまでのように精度の高い竹筬 織り目を整える道具で、 現在はステンレス合金のものが中 また、竹筬によっ 薄く削 薄く

【杼】



これからの織り

ます。

が今後新たに作られる見込みは薄く、

現在では在庫にあるだけとなり

趣味や芸術表現の方法として、手機も途絶えることはないでしょう。もとより世界で今も親しまれています。また、職人の作る高級品として、然の成り行きでしょう。そのおかげで西陣織というブランドは、全国は産業として効率良く、安定した品物の供給のためには、機械化は当

しいのが現実です。ただ、その手織りを支える昔ながらの道具を、作り続けることが難

すます困難になることは想像に難くありません。を続けている職人さんも最後の世代。今後も、道具や部品の入手はま筬に限らず、さまざまな道具を作る職人が減りつつあります。仕事

を生み それぞれをつなぐ機料店という存在が、 どのように残していけるの 在に合 技術を支えていくことができない。昔ながらの道具を守り伝えつつ、現 道具を作り販売する、 出してい った道具を設計・製作し、 共に歩んできた「人が織る」という営みを続けていける環境を くの かもしれません。 それだけでは機料店として「手織」という文化・ か。 織る職人、 未来へつなげていく。 これまでとは、 道具を作る職人だけでなく、 また違った価値 人類がその歴史

## 手織りの道具屋 - 稲垣機料店

明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。開業当初明治三〇年代に稲垣利之助により創業。

のかは、

私たち一人一人に委ねられています。

わり」のような場所を旅し、そこから何を持ち帰ってくる の世界の境目を曖昧にしていきます。描かれた「世界の終 に映り込む日常の空間と鑑賞者自身の姿は、

室の窓に反射する結晶化する世界、

ミラーボックスの中

現実と虚構

という、より日常生活に近い空間に展示されました。教

作品はギャラリーの中ではなく、談話室と倉庫

# リスレゴ [Shadow Ya Ya]

2 0 1 5 開催された「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 二〇一五年三月から約二ヶ月間、 数多くの作品の中でもひときわ注目を集めて 京都市内各所を会場

Ann Lislegaard, Crystal World (after J.G. Ballard), 2006

Photo by Tetsuya Hayashiguchi

いたのが、 都芸術センターで日本では二回目となる個展の開催が実現 コンタクトをきっかけに、昨年一〇月末から二ヶ月間、 た京都に、 **3Dアニメーションによる作品でした。芸術祭を機に訪れ** 再び滞在し制作を続けることを望む彼女からの ノルウェー出身の作家、アン・リスレゴー 0)

品)》(一九七○) などの美術作品のモチーフが登場します。 ソン《Dead Tree》(一九六九)、エヴァ・ヘス《無題(ロープ作 組み合わせて作られた空間の中には時折、ロバ ツォ・パビリオン」(一九五一)など、実際の建築物の要素を ラスの家」(一九五一)や、オスカー・ニーマイヤー「マタラッ 蒼と繁る森の中の無人のホテルが徐々に結晶に覆われてい のスクリーンには、主人公による独白の文章とともに、 したモノクロのアニメーション作品です。同期しない二つ く様子が繰り返し映し出されます。 出展作の一つ、《Crystal World (after J.G.Ballard)》は、 バラードの小説『結晶世界』(一九六六年出版)を題材と リナ・ボ・バルディ「ガ



章は崩壊します。

同じ空間内の、

3 Dプリンターで出力

が喋る言語は入り混じり、単語が執拗に繰り返され、文 す。目にしたものにショックを受けたかのように、生き物 人公さながら、 を詰まらせ、

訪れたはるか遠い未来の情景を物語りま G.ウェルズの小説『タイムマシン』の主

H

をもって作品の世界に拡がりを与えます。

もう一つの作品、《Time Machine》では、

解体されたミ

もつそれらの作品たちは、それぞれ遠心力のような効果 『結晶世界』と前後する時期に生み出され、異なる文脈を

ラーボックスの中に映るキツネのような生き物が、言葉

世界への旅から持ち帰ってきた「証拠」でもあります。

今回、

リスレゴーという作家にとって、質量を持たない情報の シン』においては未来への旅の証明であり、同時にアン・ された奇妙な形状の白い花のオブジェは、小説『タイムマ

Ann Lislegaard, Time Machine, 2011 Photo by Tetsuya Hayashiguchi

29

会員の催物案内 催事情報は随時受け付けています。FAXかE-mailで情報をお寄せください。FAX: 075-213-1004 E-mail: info@geibunkyo.jp

※その他の催物については、芸文協 WEB サイトにて随時公開。www.geibunkyo.jp

催し物名	分野	開催日	時間	会場	料金等	申込	主催者	お問い合わせ
平成28年度 日本生花司 松月堂古流全国いけばな展	華道	2016年4月10日(日)	10:00-16:00	京都市勧業館(みやこめっせ)	無料		日本生花司 松月堂古流運営本部	TEL 075-721-0515
第70回 文人展	書道	2016年4月12日(火)~ 2016年4月17日(日)	9:00-16:00	京都市美術館	無料		文人連盟	TEL 075-255-0054(賛交社内)
京舞 篠塚流 春の会	邦舞	2016年4月23日(土)	14:00-16:30	京都府立文化芸術会館	2,000円		京舞 篠塚流	TEL 075-771-4693
京都三曲協会 第27回 定期演奏会	邦楽	2016年4月29日(金)	11:00-17:00	京都府立文化芸術会館	2,000円		京都三曲協会	TEL 075-841-3099
チャリティートーク&コンサート 手渡したい大きなありがとう	邦楽	2016年4月30日(土)	14:00 - 16:00	ロームシアター京都 サウスホール	前売 3,000円 当日 3,500円	要	梶 寿美子(梶 宏) 琴アン サンブル プリマルーチェ	TEL/FAX 075-756-0541 E-mail 410kaji@gmail.com
祝端午 新緑・萬葉の旅 和歌・俳句詠行	短歌	2016年5月5日(木)	8:30 (京都駅集合) ~ 16:30 頃 (帰路)	行先未定。 萬葉歌詠行·説明	2,500円程(資料·見学料) *弁当持参	要	西島真森 (山茶花会·玉寿会)	TEL/FAX 075-211-4061 E-mail sazankasha@kzf.biglobe.ne.jp
2016年 宮下喜久子バレエ学園 卒業・終了記念発表会	洋舞	2016年5月15日(日)	14:00-18:30	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール	無料		宮下靖子バレエ学園・宮下靖子 バレエ学園オール宮下父母の会	TEL 075-682-3525
東丘社56会展	絵画	2016年5月24日(火)~ 2016年5月29日(日)	10:00-18:00	京都府立文化芸術会館	無料		東丘社 (京都·日本画研究団体)	TEL/FAX 075-231-7883
第67回 京都薪能	伝統芸能	2016年6月1日(水)~ 2016年6月2日(木)	17:30 - 20:40	平安神宮	前売 3,000円 当日 4,000円(予定)	要	京都市、京都能楽会	TEL 075-771-6114
有馬龍子記念 京都バレエ団公演「ドン・キホーテ」全幕	洋舞	2016年7月24日(日)	15:00-17:30	ロームシアター京都 メインホール	前売券S席 12,000円/A席 10,000円/ B席 8,000円/C席 6,000円/D席 4,000円		一般社団法人京都バレエ団	TEL 075-701-6026

### 会員からのお知らせ

### ※芸文協 WEB サイトでも情報を公開しています。www.geibunkyo.jp

	分野	催し物名	募集期間	内容	参加料/月謝	申込方法	お問い合わせ先
教室・入会	短歌	西島真森 (山茶花社)	随時	短歌・書道・華道・茶道入門とお稽古に力を入れています。	<ul><li>・入会金は1回(入会時)のみ10,000円</li><li>・年会費毎年(会員親睦)10,000円</li><li>・月謝毎月(稽古謝礼)9,000~8,000円</li></ul>	事前にお電話等でで連絡の上、本教室へ直接お出でください。 申込用紙・しおりなど自由にご覧いただけます。 詳細は教室へお問い合わせくださいませ。	TEL/FAX 075-211-4061 E-mail sazankasya@kzf.biglobe.ne.jp
同人募集	連句	京都府連句協会	随時	連句の会。連句は座の文芸と言われていて、みんなでわいわい 言いながら一句一句を定め一巻を作り上げてゆく、楽しい文芸です。 初心者向けの場も用意していますので、気軽にお問い合わせください。	無料	電話・FAX・E-mail・郵送にてお申し込み、お問い合わせください。	北原春屏 TEL/FAX 075-332-4412 syunpei@shore.ocn.ne.jp
生徒募集	邦楽	花洛会(神原左知子)	随時	等・三弦・胡弓の教室です。生徒さん募集しています。 (二条城北側にある教室です)		電話・E-mailでお問い合わせください。	TEL 090-1143-1035 FAX 075-811-6437 E-mail kan14@maia.eonet.ne.jp
生徒募集	洋舞	神谷道子バレエ研究所	随時	幼児クラス〜専門科/趣味のクラスもあります。木の温もりのある 明るい本格的パレエスタジオです。平成30年に創立45周年を迎えます。 その時に大きなイベントを企画中。支部=7カ所		電話・FAX・E-mailで、お名前とご連絡先をお知らせください。	TEL 075-953-7688 FAX 075-953-8272 E-mail kamiya@extra.oce.ne.jp / info@kamiya-m.jp
生徒募集	洋舞	水野弘子バレエ学園	随時	バレエ教室	会費:月額5,400円	電話・E-mailで①ご希望の教室②ご希望のクラス(日時・曜日) ③ご氏名 ④お電話番号をお知らせください。 体験受講・見学あり。	TEL 0774-54-1973 E-mail info@mizuno-ballet.com
生徒募集	邦舞	麗憙の会 藤間麗憙	随時	日本舞踊教室~藤間添~ 古典舞踊は日本の伝統芸能です。華やかで 気品があり、しなやかな動作で色々な役柄を踊る楽しさがあります。 足腰を鍛えて一緒に楽しみましょう。初心者も大歓迎!!	月謝制	電話・FAXでご連絡ください。見学もどうぞ。	TEL/FAX 075-213-1458
生徒募集	伝統芸能	金一志(金一志韓国伝統芸術院)	随時	韓国舞踊の教室	月謝制 10,000円/月	電話・FAX・E-mailなどで、 お名前、連絡先をお知らせください。	TEL 075-741-6156 FAX 075-741-6179 E-mail kim@iruchi.com
教室・入会	華道	香風流 村田香風	随時	いけばな教室	月謝:5,000円+花材費	電話・FAXでお名前、ご連絡先等をお知らせください。	TEL/FAX 075-461-6822
生徒募集	華道	未生流笹岡	随時	いけばな教室	有料(月謝等についてはお問い合わせください)	電話・FAXでお名前、連絡先などをお知らせください。 HPの問い合わせフォームもご利用ください。	TEL 075-781-8023 FAX 075-712-6667
生徒募集	華道	華道 月輪未生流	随時	いけばな教室	会費についてはお問い合わせ ください。	電話・FAX・E-mailでお名前やご連絡先をお知らせください。	TEL 075-561-1551 FAX 075-551-2788 E-mail kadou@mitera.org
教室・入会	茶道	松泉会(松本宗泉)	随時	花月を楽しむ会(茶道)		お電話にてご連絡ください。	TEL 090-2112-4308 (松泉会)

31 30

## 京都市芸術文化協会とは

営を行い、様々な芸術活動の支援を行っています。しています。併せて「京都芸術センター」の管理運芸術文化の発展に寄与することを目的として活動芸術文化非業の実施等を通じて京都市における芸術文化に関する調査研究、創造的活動の助成、

### 広告募集

務局までお問い合わせください。 掲載広告を承ります。……… 詳細は事

### ■編集後記

と広がりを実感した。祖待された。そこでの様々な出席者の顔ぶれに、改めて京都の文化を支える層の厚さ招待された。そこでの様々な出席者の顔ぶれに、改めて京都の文化を支える層の厚さ念公演が執り行われた。当日は文化関係者、市民、行政関係者他、約一八○○人が一二○一六年新年早々の一月十日、待望の「ロームシアター京都」の開館記念式典・記

この元「京都会館」は一九六○年の開館で、日本の近代建築家である前川國男の、この元「京都会館」は一九六○年の開館で、日本の近代建築家で、京都市立芸術代表的な作品の一つである。個人的にも前川は私の好きな建築家で、京都市立芸術校に良くなった。新たな文化芸術の拠点として、こから様々な舞台芸術が発信された。当初、前川建築のイメージが壊されるのではないかと心配されたが、それも取りが悪くなり最近では寂しい建築になっていた。何よりも時代の変化とともに、使い勝手が悪くなり最近では寂しい建築になっていた。何よりも時代の変化とともに、使い勝手が悪くなり最近では寂しい建築のイメージが壊されるのではないかと心配されたが、それも取りた、当初、前川建築のイメージが壊されるのではないがという。

おり、今後、益々文化的に充実した地域となる。とに、一般市民へのサービスも充実した。かつて、岡崎は公園法によってレストラン、そして本を中心とするミュージアムなかった。今回、会館内にカフェやレストラン、そして本を中心とするミュージアムなかった。今回、会館内にカフェやレストラン、そして本を中心とするミュージアムなかった。今回、会館内にカフェやレストラン、そして本を中心とするミュージアムなかった。今回、会館内にカフェやレストラン、そして本を中心とするミュージアムなかった。今回、会館内にカフェやレストラン、のためか今まで満足できる飲食ができや物販が規制されていると聞いたことがある。そのためか今まで満足できる飲食ができや物販が規制されていると聞いたことがある。そのためか今まで満足できる飲食ができなりに一般市民へのサービスも充実した。かつて、岡崎は公園法によってレストランさらに一般市民へのサービスも大変によっている。

う豊かさであり、楽しみでもある。それらを活用することによって、生き生きとした景観になっていく。それが都市に住までれらを活用することによって、生き生きとした景観になっていく。それが都市に住まてりした社会的文化装置が整うだけでなく、受容する市民が自ら生活の一部として